

# 希望

《学校教育目標》 自らを磨き 未来を拓く生徒

鯨井中学校だより 第 14 号  
令和 2年 11月 6日  
1年 73名 2年 83名  
3年 70名 全校226名

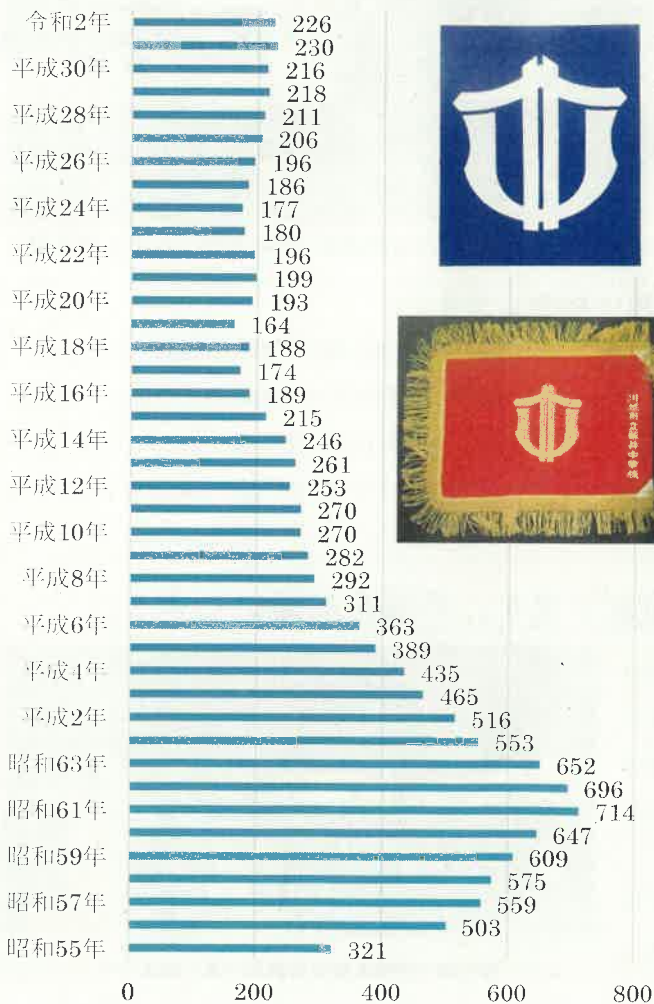
## ◇鯨井中学校開校 40 周年記念特集（今年度は、開校当時を紹介します）

本校の開校記念日は、11月15日で、今年度で開校41年目となりました。学校によっては、40周年記念の式典などを行う学校もありますが、新型コロナウイルスの関係もあり、本校では式典等のイベントは実施いたしません。学校朝会の時の講話の中で、開校40年に係るお話を少ししたいと思っています。

また、PTAのご協力により「タイムカプセル郵便」と「マスコットコンテスト」、「そのマスコットのモザイクアート」「そのマスコットを使用したのTシャツづくり」を40周年記念とタイアップさせて行うことになりました。先日のマスコットコンテストへの多数の応募、ありがとうございました。マスコットコンテストの最優秀作品は、鯨井中オリジナルTシャツ（PTA）のロゴマークとして使用される予定です。これから行われるタイムカプセル郵便やモザイクアート等への協力を引き続きお願いします。

外の掲示板（校門の南側）と職員室廊下に40年の歴史を振り返る写真を掲示してあります。全校三者面談等でご来校の際にぜひご覧ください。

41年間の生徒数の推移（基準日5月1日）



### ◇11月15日は、開校記念日です。

（今年度は、開校当時について紹介します。）

本校は、昭和55年4月1日に開校しました。開校時は、新1年生177名（4学級）、新2年生144名（4学級）でスタートしました。

開校当時は、今の教育目標ではなく校訓として「努力」「責任」「親和」と制定されました。

校章は、地名鯨井の「井」と中学校の「中」を組み合わせ、全体の形は、地区にある天然記念物、鯨井の大ひいらぎの葉を模して形づくられたようです。

生徒、学校職員、保護者、地区より幅広く応募があり、その中から学校職員が考案したものが選ばれました。

校服（鯨井中学校の制服）は、生徒及び保護者の代表、学校職員の希望や意見を参考に検討され、昭和55年6月に制定されました。

11月15日に学校開校準備委員会主催による開校記念式典が行われ、この日を開校記念日と決めました。

開校2年目の昭和56年5月11日に今の校歌が完成し、9月に体育館において、校歌と校旗の発表会が、生徒・学校職員・多数の保護者の出席のもとに発表されました。

（鯨井中学校十周年記念誌より）



第1回 始業式・入学式



新校舎

※仮校舎（現在の川越西文化会館）校庭で、新1年生（177名）、新2年生（144名）のみで入学式・始業式が行われました。1学期中は、仮校舎やその校庭で勉強や部活動をしていました。新3年生は、それまで通学していた名細中学校と霞ヶ関東中学校にそのまま通学しました。（鯨井中学校10周年記念誌より）

※1学期に新校舎と体育館・プールが完成し、2学期の始業式が体育館で行われました。（鯨井中学校10周年記念誌より）

◆2階の職員室から理科室までの廊下に今年度の行事等での生徒の活躍場面を写真で掲示してあります。開校40周年の写真とあわせて、三者面談等でご来校の際にご覧ください。



昭和56年9月の校歌・校旗発表会のようなす



昭和55年夏 仮校舎から新校舎（今の校舎）への移転風景

### ◇県民の日の由来と埼玉県誕生の歴史を簡単に紹介します。

明治4年に廃藩置県が行われ、「県」の統廃合があり、11月14日（旧暦）に「埼玉県」が誕生しました。生まれたばかりの埼玉県は今と違って、荒川より東の地域でした。荒川の西が入間県で、明治6年に群馬県と合併して熊谷県になりました。そして、明治9年、埼玉県と旧入間県が合併して、今の埼玉県とほぼ同じ形になりました。

当時の資料によると人口889,492人でした。昭和46年、それからちょうど100年目に当たるのを記念して11月14日を「県民の日」としました。

### ◇来週から新人体育大会の県大会が始まります。声援をお願いします。

先週の30日（金）の午後に新人体育大会県大会の壮行会が行われました。本校からは柔道の部の個人戦（9日）と男子バレーボールの部（11日、13日、14日）に出場します。日頃の練習の成果を当日発揮して、悔いの残らない試合をしてほしいと願っています。

また、吹奏楽部のアンサンブルコンテスト（西部支部）が14日にあります。鯨井中学校の皆さんの声援をお願いします。



壮行会（全校生徒からのエール）のようなす